

前 奏 黙想	祈 禱
讃美歌 30 あさかぜしずかにふきて	讃美歌 273B わがたましいを
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条 566	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 詩編 103:1~5	黙 禱
マルコによる福音書 5:25~34	主の祈り 564
讃美歌 333 主よ、われをば	頌 栄 542 世をこぞりて
説 教 『ふるえる指先の信仰』	祝 禱 後 奏

「長血の女」の治癒奇跡(マルコ5:25~34)。よく知られている癒しの一つだが、他の癒しと違う点は、イエスにそのつもりがなくても「力(5:30)」がスッと出て行ったこと。通常はイエスと相対し、願いを訴えて奇跡が起こるのだが、この場合は女のふるえる指先とイエスの衣が両者を結びつけた(5:27)。

女は12年間も婦人病を患っている(5:25)。医術やまじないの類で金を使い果たしたうえ、病状を悪化させていた(5:26)。そして病は「血のケガレ(ルカ15:25)」とされ、屈辱的な扱いを度々受けて来ただろう。彼女は劣悪な境遇に陥り、心には蔑視され続けた傷があり、人々とのつきあひもなかった。

それでも女は「イエスのことを聞いて」一縷の望みを胸に「群衆の中に紛れ込み、後ろからイエスの服に触れた(マルコ5:27)」。周りは群衆が押し合いへし合い(5:24)。長血病の女が紛れていることがバレたら、その場はパニックになるだろう(ルカ15:27)。だが女は必死、なんとかイエスの背後まで来た。

さらにこの女のことを見てみよう。彼女が周囲から受け続けている屈辱的な扱いは分かった。12年間も出血が止まらない病の辛さも(マタイ5:25)、それなりに想像できる。それではなぜ、女はイエスの正面から自らの苦しみを訴えなかったのか。イエスは差別なく向かい合って下さる方なのに。女の苦しみは、とても言葉で表現できるものではないからだ。イエスの前にひれ伏し、病状を口に出した途端、群衆はサアッと身を引いて、女を激しく罵倒するに違いない。そんなことはこれまでに幾度となくあった。そして何よりも、彼女自身が律法の内では生きていたため「自分はケガレている」と思っている。しかしそれでも、命はあり、癒されたい、清められたい、孤独から逃れたい、と切望している。

女は「この方の服にでも触れればいやしていただける(5:28)」かもしれないと群衆に紛れ込んで近づいた(5:27)。だが葛藤と躊躇もあった。この尊く清い方イエスに自分のケガレをうつしてしまうかもしれない、神にいつそう罰せられるかもしれない。しかし、それでも癒されたい、こんな日々はもう嫌だ、といった声ではない叫びが彼女の「ふるえる指先」から発せられていた。福音書はそこまで詳細ではないが、この場面を思い巡らせていると、女の「ふるえる指先」まで見えて来る。

そんな指先で「後ろからイエスの服に触れる(5:27)」と、「すぐ出血が全く止まって病気がいやされたことを体を感じた(5:29)」。女だけが体を感じたのではない。イエスもまた「自分の内から力が出て行ったことに気づいて、群衆の中で振り返り、[わたしの服に触れたのはだれか]と言われた(5:30)」。体を通して「力(聖霊)」を知ったのは、イエスと女だけ。他の者には分からない(5:31)。接したのは僅かに、衣の端っことふるえる指先だが、聖霊の力はしぶとい「病の拘束」から彼女を解き放った。

「女は～震えながら進み出てひれ伏し、すべてをありのまま話した(5:33)」。もう後ろからこっそりではなく正面に進み出、口にできなかった病とその快復の様子を明らかにした。癒された喜びよりも、身に起こった奇跡の恐れが勝っていた(5:33)。この場が不可思議な静寂に包まれた。騒然としていた群衆は息を飲んで沈黙し、非難の言葉を浴びせることはない。皆が聖霊の力に圧倒されていた。

イエスは女に言った。「あなたの信仰があなたを救った～もう病気にかからぬように(苦しみから自由になれ)(5:34)」。迷った末のほんの僅かな「指先の信仰」。そこにとてつもない神の愛と癒しが宿る。

指先から発せられている叫び なんと密度か 声でもなく 身ぶりでもなく 誰にも分らない 聖霊はその封を切り場は沈黙に包まれる 神の愛によるだけではない 指先の叫びがあつてのこと

6/12(水)1:30~3:00 エステル会。6/15(土)1:30~3:30 メディカル・カフェ。月報「いき」への寄稿、募集中です。8月号は平和特集、その他「私の愛唱讃美歌」、または自由テーマで。連絡は役員まで。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。